

自殺は予防できる社会的問題というが、市の対策は？

こみ子 五間

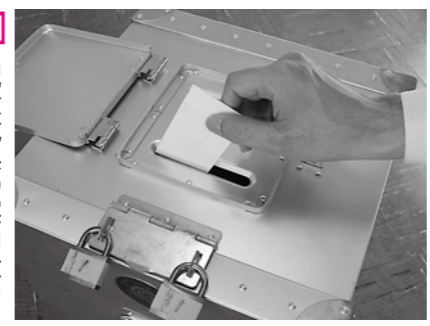
問 ここ10年、国内の自殺者は年間3万人を超えている。交通事故死の約5倍に当たる高い数だ。国は、自殺対策基本法で、国や自治体の責務として、自殺対策を総合的に進め自殺予防に取り組むよう定めた。市では自殺予防に対する取り組みとして、どのようなことをしているのか。

答 本市では、年間約30人前後の方が自殺で亡くなっており、精神保健事業として精神科医師などによる「心の健康相談」を定期的に行ってきた。そのほか、保健師による相談及び支援を積極的に行っており。来年（平成21年）2月には、自殺予防などに観点を置き、世代ごとにテーマを絞った保健講座を4回実施する予定です。

青年層の投票率向上に、模擬投票をしてみてもいいか？

ひさこ 中矢

問 青年の政治や選挙離れは深刻だ。新成人にターゲットを絞った取り組みとして、成人の日記念式典の会場で模擬投票をしてみてもいいか。



模擬投票

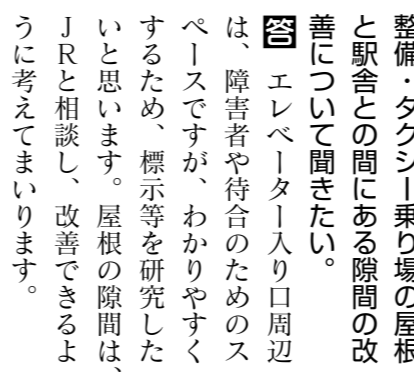
答 ご指摘のとおり、青年層の投票率の低さは、他の年代と比較してみても際立っております。今年の成人式で模擬投票を実施した市の効果を調査・研究してまいります。

第三次救急拠点を守るため、今、深谷市ができることは？

ひさこ 中矢

問 深谷赤十字病院が推進している開放型病床・開業医登録制度について聞きたい。

答 平成15年から始めた開放型病床は、平成18年・19年とともに20%以上の稼働率で、一定の成果を上げています。
問 全国的に広がる医師不足による医療崩壊。そんな中、行政がリーダーシップをとり、医療再生に成功した市もある。医師である市長に対し、市民の期待は大きいと思う。でき



深谷赤十字病院

問 費用対効果・財源確保の観点から、駅行政施設の有効利用を考えるべきと思うが？

答 公共交通機関隣接の場合、鉄道の運行に支障を来さないような、有効活用について検討してまいります。
問 南口エレベーター周辺の整備・タクシ乗り場の屋根と駅舎との間にある隙間の改善について聞きたい。

仕事と生活の調和＝ワークライフバランスって何？

こみ子 久美子

問 ワークライフバランス（WLB）の認知度は低い。また、WLB支援の対象は子育て支援や女性支援と思われがちである。官民トップ会議において、仕事と生活の調和憲章が調印され、行動指針が定められたが、市の見解は。

答 WLBは重要であると認識しており、今後は施策策定にWLBの考え方を取り入れていきたいと考えています。
問 WLBの取り組み状況は。

け、再発防止委員会が開催されたが、議論された内容は公表されていない。また懲罰を決定した委員会についても公表されていない。説明責任が信頼回復の第一歩と考えるが。



問 対話会や市長への手紙など、市民の声を聴くことは大切である。同時に、直接でなく、市民が市政全般をどう感じているかという意味で、アンケートは大きな意義がある。計画策定時だけでなく、市民の意識を基礎データとらえ、定期的に把握し、その結果を施策に反映していくことは必要と考えるが。

答 市民意識調査については多方面から検討していきます。



県立川本高校

川本高校閉校後の跡地や施設の活用について

たじま 信吉

問 川本高校は、寄居高校との統合のため、昨年の春から生徒募集を停止し、現在2年生と3年生の生徒140人が在学している。完全閉校が間近になった。閉校後の利用方法について、県教育委員会との協議状況を聞きたい。また、再利用について地元では高い関心を持っている。地域自治会等の理解を得ながら進めるべきと思うが、市の考えを聞きたい。

答 去る10月に県教育委員会

から跡地利用の考えを聞ききました。12月にも確認したところ、「現在内部で検討中であり、現段階では公表できない」とのことです。今後県から方向性が示されたら地元自治会等に話してまいります。

深まる闇・新井市政

たじま 均

問 今回の補助金不正支給の原点は、福祉事務所が法令に反し便宜供与したことに起因する。県が障害者手帳交付申請を却下した直後に、なぜ市は障害者補助制度を適用したか。浴室等の改修では、限度額に抵触しないよう三種類の制度を適用し、書類不備にもかかわらず、申請書は職員が代筆、補助金69万円は現金で渡し、工事の確認すらしない。明らかに福祉事務所はこの犯罪に加担している。一体誰の指示で行われたのか。補助申請などの要式行為において、市のさまざまな事務処理は日常的に行われているのか。暴力に屈したとあるが、市の調査を見る限り特筆すべき行為があったとは思えない。単なる言い訳に聞こえる。誰が暴力に屈し、誰の権限で補助が

ない理由を並べるのではなく、医師会との連携を強固にすることや、市民意識の改革を行うなど、深谷赤十字病院のバックアップをすべきと思うが、どう考えるか？



問 懲戒処分は難しいです。事件の社会的影響は重いもので悩んでいます。今は前向きな再発防止策が課題だと思えます。若手職員を中心にディスカッションを行い、全職員が謙虚に反省し市政の信頼回復に努力すべきだと思います。